

令和7年度 後期学校評価結果

		生徒	保護者
1	学校教育目標「しなやかに 挑み続ける ～ 自ら学び 仲間とともに高め合う生徒～」を意識している。	80%	82%
2	重点目標「自分で考え 行動する」を意識している。	86%	84%
3	【小中共通項目】自分の思いが相手に伝わるように自分なりの方法で表現している。	91%	83%
4	【小中共通項目】自分や他の人の良さを認め、自分や他の人を大切にし、協力して過ごそうとしている。	93%	92%
5	【小中共通項目】失敗を恐れずに、目標に向かって粘り強く取り組もうとしている。	75%	74%
6	学校へ行くのが楽しい。	88%	90%
7	富士中は安心して生活ができる学校である。	88%	96%
8	進んであいさつができています。	83%	81%
9	思いやりの心をもって、友だちと接している。	95%	96%
10	学校や学年の行事に積極的に参加をした。	89%	89%
11	授業中、仲間の考えや意見をきくことができる。	94%	96%
12	授業中、自分の意見を仲間に伝えることができる。	74%	81%
13	授業の内容が理解できている。	87%	
14	授業中、ICT機器（タブレット等）を使って、学習に取り組むことができた。	97%	97%
15	家庭学習を、計画的に行っている。	57%	54%
16	学習面や生活面において、自分が立てた目標の達成に向けて、頑張ることができた。	75%	66%
17	将来の夢や目標をもち、進路について考えることができた。/子どもは、家庭で、将来の進路について話をしている。	67%	60%
18	場に応じた話し方や、相手のことを考えた言葉遣いができる。	87%	86%
19	きちんとした服装・みだしなみである。	93%	93%
20	時間を守って生活している。/子どもは、時間を大切にして、生活している。	87%	62%
21	交通マナーを意識しながら登下校している。	95%	98%
22	自分はルールや決まりを守っている。	92%	94%
23	部活動に、積極的に参加している。	93%	93%
24	そうじを一生懸命に取り組むことができています。	91%	41%
25	生徒会活動（委員会）に、一生懸命取り組んでいる。	84%	76%
26	読書習慣を身に付けることができています。（目安は、1日30分程度）	45%	28%
27	地区のボランティアに興味をもっている。	44%	38%
28	富士中に誇りをもっている。	83%	86%
29	防災訓練や防災学習を通して、命を守るための行動を理解することができた。	91%	83%
30	緊急時に、自分の命を守るために適切な判断と行動をとることができる。	87%	
31	困ったときに相談できる仲間がいる。	83%	87%
32	困ったときに相談できる先生がいる。	75%	84%
33	先生は、あなたのよいところを認めている。	94%	94%

※太字…前期学校評価より数値が上昇している項目

令和7年後期学校評価について（分析）

よかった点

- ・全体として、生徒は約7割の項目、保護者は約9割、教員は約8割の項目で、前期の数値より向上しています。日常の授業やかかわりをはじめ、行事面では、EF（文化・体育）等を通して、学校生活でのやりがいや充実感を、多くの生徒が味わえたと感じられたからと考えます。
- ・小中共通項目では、3つの目標とも前期より後期の方が上昇しています。合わせて、過去3年間と比較しても生徒・保護者・教員、それぞれが1番高い数値となっています。また、本校の課題の1つとも重なっている「③相手に伝わるように自分なりの方法で伝えている」については、前期より2%、昨年や一昨年より5%上昇しています。
- ・「⑦授業中、自分の意見を仲間に伝えることができる」については、目標の80%には届いていないものの、前期より6%上昇しており、意図的に自分の思いや考えを伝える場面を、授業の中で教員がより多く仕掛けようとしたことが、生徒にも伝わったり、意識できたりするようになってきている表れだと思えます。
- ・その他の項目で、前期と比較して後期に大きく向上した項目は、
 - ⑭学校へ行くのが楽しい 3.5%（昨年より13%上昇）
 - ⑲富士中は安心して生活できる 6.2%
 - ⑱地区のボランティアに興味をもっている 7.6%
 - ⑳生徒会活動に、一生懸命取り組んでいる 10.5%
 - ㉑先生は、あなたのよいところを認めている 3.9% 等を中心に上昇しています。

課題となる点

- ・グランドデザインの目標と現状の差が大きかったものとして、1つは「⑮進んであいさつができる」が学校評価での目標は教員80%でしたが、結果は65%となりました。前期より教員の評価が下がった項目ではありますが、生徒や保護者の数値は上昇しており、地域の方からもあいさつができる生徒が増えているという声も、複数寄せられている現状にあるため、継続した取組を行っていきたいと考えています。
- ・「⑦授業内容の理解ができている」が、目標値は生徒85%であり、後期の数値が87%と達成しているものの、教員の評価は97.1%であり、認識に差のある項目であったため、さらにアセスメントを重ねて、実情に合った質の高い授業を目指して取り組んでいく必要があると考えています。
- ・「㉒困ったことがあったときに、相談できる先生がいる」については、後期の生徒の数値が75%でした。一方「先生はよいところを認めている」は94%と高いことから、今後の相談体制を充実させるとともに、日常生活や授業でのきめ細やかな関わりを大切にしていくこと等により、子どもたちを支える環境をより整えていく必要があると考えています。

1月には、今回の令和7年度の後期学校評価を受けて、学校全体として、また各学年として分析をし、今後の目標や手立てについて話し合いの場を設けました。今回の学校評価を受けて、さらに“しなやかに挑み続ける”富士中生を支えていくことができるよう努めてまいります。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。